



やまがた

議会だより

平成17年2月1日発行

7号

発行：山県市議会
〒501 2192 岐阜県山県市高木1000番地1
編集：議会報編集委員会
TEL.0581(22)6840 FAX.0581(22)6852
E-mail gikai@city.yamagata.gifu.jp

C O N T E N T S

第4回定例会

第4回臨時会

ここが聞きたい「まちづくり」一般質問

編集後記



第四回定例会

補正予算など

十七議案を可決

平成十六年第四回定例会を、十二月七日から十二日までの十六日間の会期で行いました。人事案件一件・条例案件七件・補正予算三件・その他案件四件・意見書二件、いずれも原案のとおり可決しました。

人事案件

人権擁護委員の推薦につき意見を求めること

山県市谷合一二七八番地一 白井敏雄

咲きホールの設置に伴い条例を制定

証明書の交付等の事務委託の廃止に関する協議

条例案件

山県市公民館条例の一部を改正する条例

いわ桜公民館を置き、北武芸公民館・谷合公民館・葛原公民館・北山公民館をそれぞれいわ桜公民館の分館とする

山県市文化の里花咲きホールの設置に関する条例

山県市文化の里花

証明書の交付等の事務委託の廃止に関する協議

武儀郡武芸川町、武儀町、洞戸村、板取村、上之保村が合併により廃止されるため、事務委託を廃止

山県市と揖斐川町

との間の証明書の交付等の事務委託に関する協議

揖斐川町と証明書の交付等の事務委託
岐阜県市町村会館
組合を組織する市町村数の減少

恵那郡坂下町、川上村、加子母村、付知町、福岡町、蛭川村が合併により廃止されるため市町村数を減少

岐北衛生施設利用組合を組織する地方公共団体の数の減少及び同組合規約の一部を改正する規約
合併に伴い武芸川町・洞戸村・板取村が脱退し、関市が加入することによる一

部改正

補正予算

平成十六年度山県市一般会計補正予算（第五号）

歳入歳出予算の補正
歳入歳出予算それぞれ四千七百五十八万三千円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ百五十二億三千二百五十四万八千円

繰越明許
公共林道開設事業・現年発生補助災害復旧事業
債務負担行為補正
山県市イベント実行委員会補助
地方債補正

現年発生補助災害復旧事業

平成十六年度山県市国民健康保険特別会計補正予算（第一号）

歳入歳出予算それぞれ二億三千二百七十三万七千円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ二十八億九千九十八万七千円

平成十六年度山県市水道事業会計補正予算（第四号）
業務の予定量、資本的支出の予定額を補正

その他

山県市過疎地域自立促進計画の変更
平成十五年策定計画の変更

山県市過疎地域自立促進計画の策定
平成十七年度から平成二十一年度計画の策定

財産の取得
岩佐地区のデジタル対応済伝送路施設一式を山県市有線テレビ施設として利用するための取得

市道路線の認定
高一二三四 一号線・高一二三四 二号線・伊八四一号線の認定

意見書

食品安全行政の充実を求める意見書

食料が安心・安全・安定的に供給されるよう食品安全行政の充実を求める

平成十七年度地方交付税所要総額確保に関する意見書

平成十七年度地方交付税の大幅な削減が行われることのないように所要総額が確実に確保されるよう求める



第四回臨時会

平成十六年第四回臨時会を十一月二十六日に開催し、八議案について慎重に審議し、いずれも原案のとおり可決しました。

専決処分

山県市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の専決処分
寒冷地手当を削除に伴う一部改正

歳入歳出予算それぞれ百五十一万八千円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ六億二千三百六十七万二千円

平成十六年度山県市水道事業会計補正予算(第三号)
収益的支出の予定額の補正・経費の金額の改正

補正予算

平成十六年度山県市一般会計補正予算(第四号)
歳入歳出予算それぞれ千八百八十六万二千円を減額し、歳入歳出予算総額をそれぞれ百五十一億八千四百九十六万五千円

平成十六年度山県市農業集落排水事業特別会計補正予算(第二号)
歳入歳出予算それぞれ百十九万六千円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ三億九千八百九十一万九千円

その他

高富中学校校舎改築事業 電気設備工事請負契約
校舎の電気設備の整備

平成十六年度山県市簡易水道事業特別会計補正予算(第一号)

平成十六年度山県市公共下水道事業特別会計補正予算(第二号)
歳入歳出予算それぞれ百六万八千円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ十

山県市公共下水道事業 高富幹線管渠第二工区工事請負契約の変更
高富幹線管渠第二工区工事の施工延長

平成十六年
第四回
定例会

一般質問

七人の議員が市政を問う。

ここが聞きたい『まちづくり』

問

トンネル掘削残土の処分は

答 モニタリングを行います



小森英明議員

問 岐阜美山線平井バイパス工事のトンネル残土が強アルカリ性を示した。搬出先の岐阜市日野地内で川に流れ出し魚が大量死した。山県市内ニヶ所に仮置きしてある二万㎡の利用方法と、武儀川の魚に影響はないか。

答 基盤整備部長

残土は、天然の土砂であり、第一に安全性第一に施工性、経済性

を考え県道岐阜美山線の路体として使用します。残土の成分は、検査の結果河川等周辺の環境に影響はありませんが

盛土の方法は、土壌汚染マニアルに基づき覆土やアスファルトにより遮水を行い雨水の流入を防ぐ工法で行いますので、アルカリ成分等を含んだ水の流出はありませんが、万一流出したとしても周辺の土砂により中和されます。今後、周辺の水域への影響については、定期的に検査のモニタリングを行っていきます。

問

確定申告の対応は

答 前年度の教訓を生かして対応



影山春男議員

問 平成十五年度確定申告相談に対する不満がありました。高サービス・低負担を目標に進められた合併なのに相談に対する職員対応に不備が多く見られたとの事。今年度の申告相談は万全な態勢で対応出来るのか。

答 総務部長

山県市になって初めての申告相談であったため、今までと勝手が違い、受付に混乱が生じたこと。待ち時間の確な案内が出来なかったこと。新規導入したパソコンシステムに不慣れで有ったこと等により大変ご迷惑をおかけしましたが、受付の午前・午後の区切りをしない。その日に受付した申告相談は、その日にお答えする。職員の配置を増やし、昼食時においても対応する等の方法により改善を図ります。

問 地籍調査の推進について

答 市民に有益な事業



横山哲夫議員

問 山県市の地籍調査事業の進捗が大変遅く憂慮しているところです。本年六月発表された行政改革大綱の中でも地籍調査の推進を計画的に行うと有りますが、十七年度予算から積極的な事業推進を。

答 基盤整備部長

この地籍調査は、個人個人が所有している土地の境界が明確になり、紛争もな

くなり、公共事業などが手早く進めることができます。

しかし、土地の一筆

一筆をその土地の所有者と確認をしなければなりませんので時間がかり一工区を完了するのに三年を要します。

市民に有益な事業として、市内全体を進めるには調査工区を増やすことで、この事務を担当する職員を増やすことや予算の確保などがありますので内務でよく協議をして、積極的に努力します。

問 安心できる国保制度

答 国保制度の維持



中田静枝議員

問 医療費の支払いが困難な場合の一部負担金減免制度を設けるべきではないか。又、国保税の引き下げは可能か。

答 市民部長

一部負担金の減免制度の要綱等の整備は、

今後検討します。

被保険者の負担を

低く抑えるために、

今年度の税率は前年

度の税率を据え置いた。

医療費に不足が生じた場合、基金の活用

も含めて考えます。

保険税は、被保険

者が連帯して応分の

負担をする制度であり、

納付されない場合に、

資格証明書等の発行

は必要な措置と考え

ます。

一人一枚の保険証

の発行は、利便性を

考慮し、今後検討し

ます。

問 自主防災組織の充実を

答 一〇〇%の組織化を目指します



谷村松男議員

問 今年、台風の上陸

も多く各地で非常に大

きな風水害が発生し、

中越地震の震災の凄ま

じさを目の当たりにし、

自然災害の恐ろしさ、

怖さを肌で感じられた

方も多いと思います。

地域に根ざした自主

防災組織の育成が急務

であり、住民の防災意

識の高揚を図る必要が

あると思うがどうか。

また、非常食等の備蓄

状況はどうか。

答 総務部長

自主防災会は、十二月

現在で一五五自治会中一

三八自治会で結成されて

います。今後、全ての自

治会で結成して戴きた

いと思っています。自主

防災会の、より活発な

活動を支援するために、

自主防災会活動マニユ

アルの作成、自主防災

会リーダー研修会への

積極的な参加、或いは

先進的な取り組み事例

の紹介等を行います。

また、備蓄している非

常食等ですがアルファミ

乾パン等で三三、五〇〇食

飲料水八、六五〇リットル

毛布二、一九〇枚です。

問 AED設置について

答 導入に向けて協議



尾関律子議員

問 厚生労働省が今年の七月一日から、心臓が突然に停止した人に電気ショックを与えて救命する、AED（自動体外式除細動器）の使用を一般の人にも認めたことを受け、山県市に於いてもスポーツ施設や公共施設に設置する考えは。

答 消防長

AEDは、心肺停止状態になった人に対して心電図を自動解析し、必要な場合には電気ショックを与えて、救命するための機械です。今後、市民の方々が多数利用される施設を所管する関係部と連絡を密にし、導入に向けて協議して行きたいと考えています。使用方法などについては、急救命士が施設職員や市民に対して指導して行きたいと考えています。

問 建築廃材・チップの大量堆積問題

答 県と協力して適切な指導に努める



寺町知正議員

問 産業廃棄物である木くずを細かいチップにしたものが、伊自良の四力所に大量に堆積されている。面積と量はどれだけが。それは、廃掃法と農地法からみてどう評価されるのか。今後、市は、どのようにするのか。

答 助役

山県市大森、藤倉地区の農地四ヶ所一万五千㎡に、土壌改良材二万㎡を堆積しています。廃棄物処理工法上の不法投棄や不適正処分ではありません。今後、不適正処理などがされないように、県とともに監視して参ります。また、農地転用許可に該当しないとの見解を示してきましたが、この判断は誤りでした。今後、農地法による適切な指導に努めます。

編集後記

山県市が誕生して早いもので二年近くになり、市政及び議会が順調に航海出来ているのも市民の皆様のご理解とご協力の賜物と感謝申し上げます。各地で合併協議会が



破綻している現状を見聞きするたびに、今更ながら山県市の合併に関わられた方々に敬意を表すると共に、私達議員も執行者側との緊張感を保ちながら山県市発展のために努力して行きます。今年も『議会だより』を『愛読頂き、明るい山県市を皆様とご一緒に築いていきたいものです。』

編集委員

文責 横山哲夫

- 横山 哲夫
- 宮田 軍作
- 田垣 隆司
- 小森 英明
- 藤垣 邦成